

早い対応に感謝

このたびの突然の火災は、生涯で最もショックで悲しい出来事でした。今でもとても信じられず、火災現場を見ては納得する始末です。

当時うちの子どもは「うそだ、うそだ」と泣き出すし、テレビで燃えているところが出ると、私も涙がポロリと落ちたりしました。さぞ、

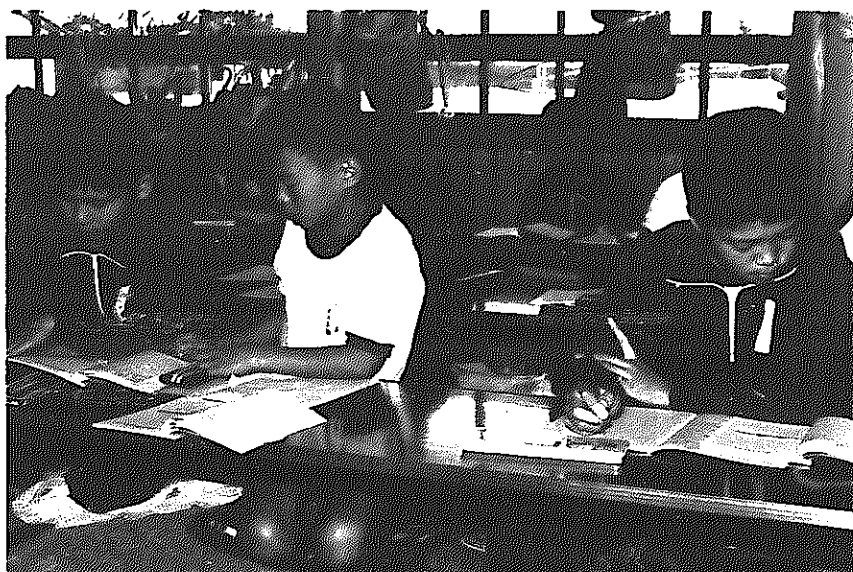
校長先生や諸先生、PTA役員の皆さんはたいへんだっだろうと思います。まだこれからもいろいろありますが、残っていることと思いますが、私たちも協力しますので、がんばってほしいと思います。

さてこのたびの手紙は、市にもたいへんお世話になりましたので、個人的にお礼を言いたくて書いたわけです。

それは、翌日から下八枚公会堂で授業が出来るようになっていただき、仮設トイレ、水道も出来、子どもの話では、日一日いろいろな話としてもらい、さらに教科書も早々にいただいたり、体育も市のバスで送り迎えして、教育委員会体育館で行っているので私も安心しています。ありがとうございます。

これからもよろしくお願いたします。(戸石・KT)

くじけないでがんばります



仮校舎の授業にも慣れ、児童に落ち着きが戻る



体育は教委体育館で実施。7月6日は七夕集会のため白小グラウンドで授業

小須戸中から激励

六月二十四日、戸石小学校の卒業生が学ぶ小須戸中学校の生徒会が訪問。作文や千羽鶴、お見舞い金などを手渡し、「懐かしい校舎はなくなったけれど、元気を出して」と激励していました。



校舎に涙のお別れ会

六月二十六日戸石小学校の「お別れ会」が、児童全員が参加して火災現場で行われ、思い出の作文の朗読や校歌を斉唱。校歌を歌いながら思わず涙ぐむ児童もあり、悲しみをいつそう誘っていました。



おわびとお願い

戸石小学校長 田村喜親

この度の火災に際し、消防関係、白根市、小須戸町当局、教育委員会、地域のかたがたをはじめ多方面からのお力添えを賜りありがとうございます。

多年にわたり築き守ってこられた貴重な公共の財産を灰と化してしまい、ほんとうに申し訳なく思っております。

市内、小須戸町その他の小中

学校の児童会、生徒会をはじめ、多くのかたがたからお見舞いや御激励をいただき心から感謝いたしております。

早朝であったこともあり、全児童が無事であったことが不幸中の幸いでした。

「災転じて福となす」の諺のごとくになるよう努力しております。御支援をお願いいたします。